



ダメージケアをけん引してきた「ベータレイヤーシリーズ」。

この機能をしっかりと受け継ぎながら、

「熱ダメージから髪を守り、おしゃれを楽しむ髪をつくる」ために進化した
「リケラ トリートメントシリーズ」

ReKERA MIST

ReKERA EMULSION

おしゃれを楽しむためにしてきた

カラーやパーマで変化した髪「ケミカルダメージヘア」

紫外線や大気汚染などで変化した髪「環境ダメージヘア」

年齢を重ねていくことで変化したケラチンや

CMCが少ないやせ髪が、さらにダメージした「エイジングダメージヘア」

これらダメージに共通することは、髪の成分が壊れ、

足りなくなっているということ。

それは、ケラチンとCMC。

特に、エイジング毛は初めからケラチンとCMCが少ないので
ダメージが著しい。

しかし、足りないからと言ってやみくもに足すだけでは、

すぐに取れてなくなってしまう。

だから、リトル・サイエンティストは考えた。

髪の骨格から見直し補修する。そして補強する。

これがこれからの時代に必要な本当のケアではないかと。

今までのダメージケアの概念を超える進化が必要であると。

ケラチン・CMCの骨格から構築すること。

それが、第3のカテゴリー「ドレッシーケア」

アミノエチルジスルフィドケラチン（AEDSケラチン）、

ナノ化CMC、液晶コレステロール、そして処方技術。

これらを合わせて完成したのが、リケラのトリートメントシリーズ。

毎日おしゃれを楽しむ女性のために。

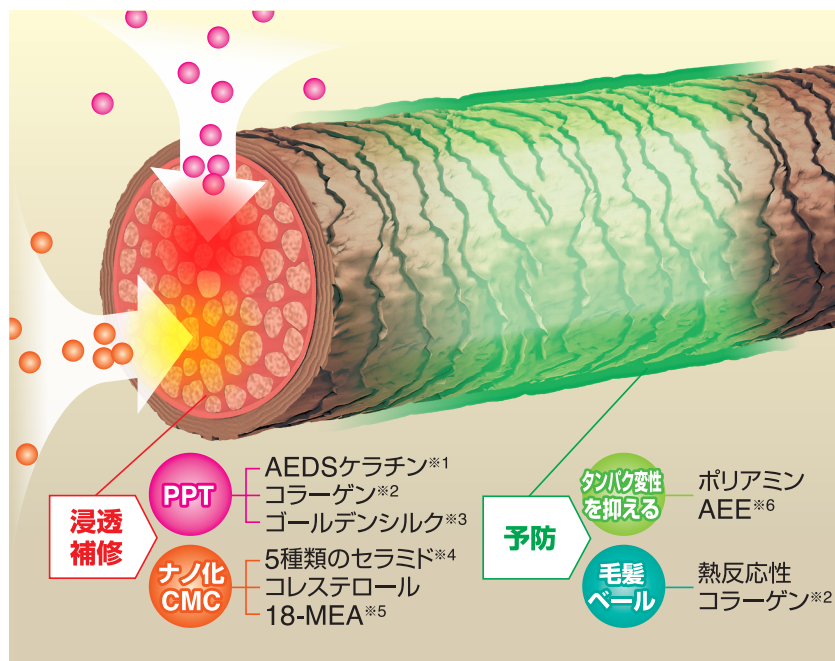


リケラミストは、

※6
ポリアミンAEEと

※1
AEDSケラチンで

浸透補修+予防して、
熱ダメージから髪を守る。



浸透補修のワケ

1 ミスト状だから

リケラミストは液体をミスト状にして使います。そのため、髪へまんべんなく塗布でき、かつ、液体のために髪への浸透が早い。

2 浸透促進成分が効いている

水にも油にも溶けやすい性質を持つ浸透促進成分を配合しているため、補修成分(AEDSケラチン※1、コレステロール、ナノ化CMC※4・5)が毛髪内部へ浸透しやすい。

3 補修成分が効いている

ケラチン骨格を補修する「AEDSケラチン※1」、CMC骨格を補修する「ナノ化CMC (セラミド※4、コレステロール、18-MEA※5)」、ダメージ部を補修する「コラーゲン」「ゴールデンシルク」がやせ髪に効く。

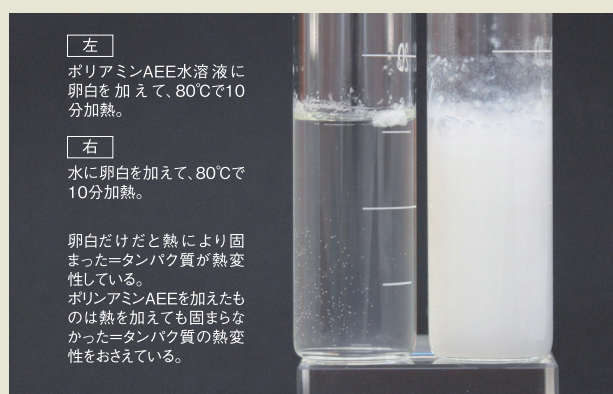
予防のワケ

1 ポリアミンAEE※6がタンパク変性させにくい

90℃以上でも生息してる「超好熱菌」が生きられる訳は、タンパク熱変性を抑える働きをするポリアミンを多く持っているから。このポリアミンAEE(アルギニンエチルHCl)が髪のタンパク変性を抑える。

2 コラーゲン※2でベールを作るから

熱に反応して髪を保護するコラーゲンなので、ドライヤーやアイロンなどの熱が加わると髪の表面に毛髪ベールを作って保護する。



・COLUMN・

もっとオシャレを楽しむために ～タンパク質と熱変性～

数多くのアミノ酸がつながるタンパク質は、互いに絡み合って複雑な立体構造をしている。これはタンパク質の働きに大きな影響があり、構造が崩れるとタンパク質は動かなくなってしまう。「生卵を加熱するとゆで卵になる」というのは、タンパク質が熱によって変性し、構造が崩れた結果(これを「熱変性」という)。しかしながら、海底火山に生息する生物は高温環境下でも生きている。これはタンパク質が熱変性せずに働いているから。

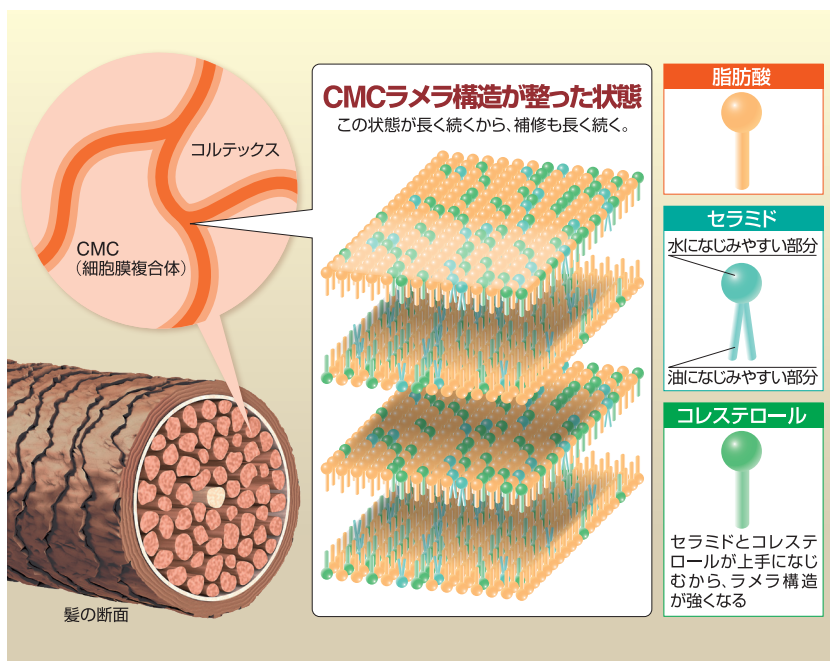
髪の主成分であるケラチンもタンパク質。アイロンやコテなどで加えられる熱によって、ケラチンの熱変性が進み、バサつきやごわつき、硬さなどの症状としてあらわれる。毎朝、アイロンやコテでオシャレを楽しみたいと思っても、髪のダメージが気になってなかなかオシャレが楽しめない。ダメージは仕方ないとあきらめていた方がオシャレを楽しむためには、熱変性を抑えることが大事なのだ。

リケラエマルジョンは、

液晶性コレステロールと

AEDSケラチン^{※1}で

CMC骨格再構築+キープして、
カサカサ・バサバサ髪の
CMC骨格を整える。



CMC骨格を作るワケ

1 AEDSケラチン^{※1}

CMCはコルテックスとコルテックスの間にあるもの。コルテックスはケラチンでできており、ケラチン骨格が弱ければCMC骨格も弱くなる。だから、まずはケラチン骨格を補修する。

2 液晶コレステロールと5種類のセラミド^{※4}

CMC骨格のポイントはラメラ構造。このラメラ構造をきれいに配列させるためには液晶コレステロールが重要。初めから液晶構造なので、よりラメラ構造を形成しやすい。また、コレステロールがラメラ構造接着の役割もするため、CMC骨格をキープする。

キープするワケ

1 ポリカチオンだから

AEDSケラチン^{※1}がポリカチオン(=プラス電荷を多く持っている)だから、髪のダメージ部分(=マイナス部分)によく吸着する。

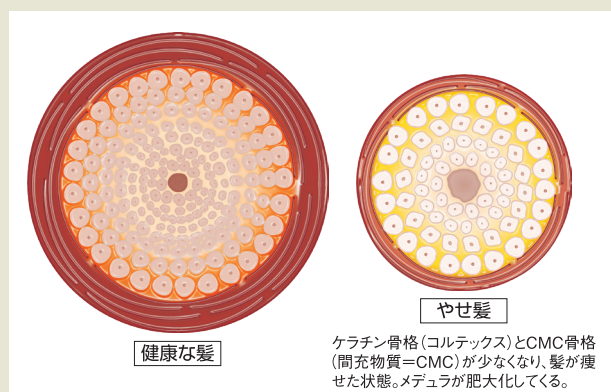
2 液晶・ナノ化だから

コレステロールは液晶化、セラミド^{※4}はナノ化しているから、ラメラ構造をとりやすい。

3 濃密な油脂だから

天然の濃密なダマスクバラ花ロウ、シアバター^{※7}、ライスバター^{※8}、モリンガバター^{※9}が補修成分を長くとどまらせる。

※1 アミノエチルジスルフィドケラチン ※2 加水分解コラーゲンPGプロピルメチルシランジオール ※3 加水分解シルク ※4 セラミドEOP、セラミドNG、セラミドNP、セラミドAG、セラミドAP ※5 クオタニウム-33 ※6 アルギニンエチルHCl ※7 シア脂 ※8 オレイン酸フィトステリル ※9 (モリンガ油/水添モリンガ油)エステルズ



・COLUMN・

やせ髪よ、さようなら ~ケラチン骨格とCMC骨格~

髪の毛の骨格には、ケラチン骨格とCMC骨格がある。ケラチン骨格とは、髪の毛の主成分であるケラチンが形成する主骨格で、ケラチン同士がジスルフィド結合(S-S結合)という強い結合でつながって髪の毛を形成。CMC骨格は、ケラチン骨格の間に存在し、ケラチン同士を接着して支える骨格のこと。これはラメラ構造とも呼ばれており、セラミド・コレステロール・18-MEAなどのCMC成分が規則正しく並んで形成する。

このケラチンやCMCは年を重ねるとともに減少し、やせ髪になっていく。これがエイジングヘアの特徴。健康毛であれば耐えられるカラーやパーマでも、エイジングヘアには過酷。ケラチン骨格やCMC骨格が崩れるほどダメージが大きく、髪がカサカサ・バサバサになる。髪の毛の骨格を見直して、そんな髪はもう卒業しよう。

リケラミスト

ReKERA MIST



こんな方におすすめ

- 毎朝、コテやアイロンを使う人
- ダメージは少ないけど、やわらかい髪の人
- エイジング毛で、さらにダメージした髪

仕上がり

さらさらで、しなやかな髪

香り

瑞々しいネクタリン、ピーチと甘酸っぱいベリーに
フローラルブーケとハチミツの香りが溶け合う
フルーティフローラル

効果的な使い方

ホームケアでは…

乾いた髪全体にプッシュ。
毛先がバサつくときは、毛先に集中的につけて
乾かすとGood!

サロンケアでは…

- リケラリノベーター（ローションタイプ）の希釈剤ベースとして
（リノベーター 1に対してリケラミスト1～3の割合が目安）
- 仕上げ剤として（ドライ、ブローなどの前に）
- パーマやストレートパーマなどの熱を加える前に



リケラミスト

200mL / 3,400円(税込3,740円)
1,000g(レフィル) / 13,300円(税込14,630円)
1,000g×3パック(業務用)

リケラエマルジョン

ReKERA EMULSION



こんな方におすすめ

- カラーやパーマによる髪のダメージが大きい人
- 硬毛でやわらかい髪にしたい人
- エイジング毛で、さらにダメージした髪

仕上がり

しっとりしなやかで、まとまりのある髪

香り

瑞々しいネクタリン、ピーチと甘酸っぱいベリーに
フローラルブーケとハチミツの香りが溶け合う
フルーティフローラル

効果的な使い方

ホームケアでは…

濡れた髪に少量手に取ってのばし、毛先を中心に広げて、ドライ。
つけすぎるとベタつきの原因になるので注意。
インバスで使用するときは少し多めにつけるのがポイントです。

サロンケアでは…

- リケラリノベーター（クリームタイプ）の希釈剤ベースとして
（リノベーター 1に対してリケラエマルジョン1～3の割合が目安）
- 仕上げ剤として（ドライ、ブローなどの前に）
- パーマやストレートパーマなどの熱を加える前に



リケラエマルジョン

ミニパウチ10mL×20個 / 7,000円(税込7,700円)
80g×6本 / 16,200円(税込17,820円)
200mL / 4,200円(税込4,620円)
1,000g(レフィル) / 16,500円(税込18,150円)